

箱根組ニュース

第326号 2020年2月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

猿橋からアプローチの御前山から2020年最初の富士を仰ぐ、

新雪で一面の銀世界だった。

田村藤子さんご逝去

箱根組の元組長田村藤子さんが2019年12月16日に逝去されました。

合掌

1991年に始まった箱根組の最初に行った箱根の山からずーっと長い間リーダーとして皆を引っ張ってくれました。決して目立つことはなく、しかししっかりと皆を見守っていました。花や山菜、山との付き合いなどいろんなことを教えてもらいました。

楽しかったあちこちの藪漕ぎの思い出。故郷の新潟柏崎に戻ってからも時折参加されていました。昨年4月の天ぷらにも参加されました。新潟の海や山などにも何度もお邪魔しお世話になりました。30年近いお付き合いで楽しい思い出はたくさんあります。

あちらの世界があれば山中さんと逢っているのかもしれない。

2月の山行は田村藤子さんの追悼です。

1月19日(日)、2020年新しい年を迎えて初めての山は御前山から富士山を仰ごうということになりました。午前6時57分発の京王線新宿駅発特急高尾山口行きに乗り込む。前日の東京は寒い雨の一日だったが、車窓からは雲一つない見事な青空に真っ白いくっきりした富士山が見えていた。

高尾でJRに乗り換え猿橋駅に8時41分着。途中から周囲の山々はまるで桜の花が咲いたかのような雪景色だった。駅を降りると白銀の世界に息をのむ。改札内でトイレ休憩&スパッツ装着。降り立った4名は、川名、宗像夫人、奥村、戸丸。

駅のコンコースの南側はうつすら凍結していた。気を付けながら安全なところでストレッチをする。

9時5分、出発。真っ白な山々を見ながら歩きます。周囲の街並みも凍っている。南口を真っすぐ進むとすぐに突き当たり右に曲がる。正面に見えるこれから向かう山々は柔らかい雪に覆われて真っ白だ。右方向に振り返ると百倉山、



扇山も同様に白く化粧している。その手前ほぼ右横に見えるのは岩殿山。登山道が通行止めという情報があったが、大きな岩の右側が大きく崩れているのが見える。台風の大雨の影響だろうかかなりの被害のようだ。

突き当りを左に曲がると右に曲がってゆく。その先のトンネルをくぐって道なりに左にカーブしてゆくと右側に登山道入り口が現れる。

9時19分、九鬼山と標識がありその下には黄色い看板に「クマ出没注意」とある。ここから大月での打ち上げ残金400円を会計に入れました。

現在の収支	
繰越入金	39485 円
支出	400 円
封筒購入	187 円
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	37898 円

切手残数	8 2 円切手
1 円切手	1 1 4 枚
2 円切手	1 1 4 枚
4 0 円切手	1 3 1 枚

木々もクリスマスツリーのようになり雪化粧している。笹も小枝も真っ白だ。少し登ると広葉樹は霧氷のようにすべて白くコーティングされていく。9時25分、

神楽山、九鬼山と標識がありこのあたりから針葉樹の植林地になる。

尾根に上がるとまた白い雑木林が続く。モミの木に分厚く着いた雪は白い大きな手袋のように見える。

美しい雪と木々の造形は遠くの青空が背景になりそれを引き立て、ため息が出るほど美しい。

10時27分、尾根に上がると、左、神楽山の分岐点。展望も良くないとの事で山頂には行かずに右方向に進む。木々の間から左方向に真っ白な富士山が見える。

10時35分過ぎ、傾斜のきつい岩場が現れ、これが少し続く。その後いったん穏やかな道になるが目の前に雪に覆われたこんもりとした岩が見えてくる。最後の岩を登ると、10時54分、御前山山頂(730m)着。

細長いそれほど広くない山頂は雪に覆われていてどこに座ろうかと迷うほどだ。しかし周りを見渡せば絶景だ。富

2月16日(日) 田村さん追悼日和田山(305m)

らくだコース 歩行2時間半

西武池袋線高麗駅から歩き、田村さんとよく登った日和田山で田村藤子さんに黙とうをささげます。左回りで下山して巾着田で昼食をします。

○何か汁物を作ります。

○持ち物 軽アイゼン、スパッツ、お弁当、飲料水、非常食、雨具、傘、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ローラーペーパー)、予備靴紐、ライターかマツチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 2月14日(金)までに

集合 2月16日(日)

西武池袋線池袋駅 7:05 発
快速急行長瀬行き (前から3両目)

途中駅発

石神井公園 7:17 ひばりが丘 7:22
所沢 7:30 小手指 7:35 入間市 7:42
飯能 7:52

高麗駅 8:00 着

交通費 池袋~高麗 片道 540 円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



士山や富士急線、中央線沿線の山々がよく見える。北側は木々があるが冬枯れで見通しがよく、ほぼ360度の展望だ。富士山をバックと、標識のところで記念撮影。お湯を沸かして暖かい味噌汁、持ち寄りの惣菜もあり4人でもなかなか豪華な昼食。

12時12分、下山開始。到着したときには全部見えていた富士山は下半分に雲がかかっていた。まもなく見えなくなるようだ。

12時19分、右に大月へのルートが

あるがそのまま直進。目の前に大きな岩のあるピークが見える、ルートは岩を巻きながら左に回り込んでゆく。

12時48分、沢井沢の頭を通過。10センチほどの白い雪をかぶった馬の背の尾根は気持ちがいい。

12時55分、雪の深い尾根を登ってゆくと険しい道になりロープの付いた登山道をよじ登ってゆく。

1時18分、馬立山(797m)到着。景色は木々の間から見える程度で展望はよくない。

2時14分、榎野山(667, 3m)標識はないが白い板にかすかにボールペンのようなもので薄く書いてある。

2時43分、田野倉集落のはずれに到着。赤い小さな祠が建っている。その横に二本の大木が見事だった。昔は大きな神社が建っていたのかもしれない。突き当たった舗装路を右に進むと踏切がありこれを渡ってまた右に進むと田野倉駅に到着。

富士急線の車両は外国人らしき人で一杯だ、なぜか白人系の人が多かった。

大月駅前のお店に入ったのは奥村、川名、戸丸の3名。山を窓から眺めながら美味しいビールをいただく。大月駅前には青と白の富士山と月のイルミネーションが輝いていた。

○槍ヶ岳5泊6日スケジュール案
表銀座縦走コース

●一日目 7月27日(月)

新宿発(バスかJRで)穂高駅
バスかタクシーで中房温泉泊

●二日目 7月28日(火)

中房温泉→燕岳→燕山荘泊
(歩行4時間55分)

●三日目 7月29日(水)

燕山荘→大下りの頭→切通し岩
→大天井岳→大天井ヒュッテ泊
(歩行4時間40分)

●四日目 7月30日(木)

大天井ヒュッテ→西岳→水俣乗
越→ヒュッテ大槍→槍ヶ岳山荘
泊(槍ヶ岳往復は翌朝?)
(歩行6時間50分)

●五日目 7月31日(金)

槍ヶ岳山荘→大曲→槍沢ロッジ
→横尾山荘→徳沢ロッジ泊
(歩行6時間)

●六日目 8月1日(土)

徳沢ロッジ→明神→上高地
(歩行2時間)

上高地→(バス)新宿着

◎費用約7万円

(宿泊費5万円・交通費2万円)

